

海外研修を通して

日本橋高校は昨年も海外研修がありました。興味はあったのですが、一步踏み出すことができませんでした。ですが、今年度も実施するという事なので、最後のチャンスだと思いチャレンジしました。この思いが人生に新たな刺激を与えてくれました。

まず事前学習では、現地に住んだことがある先生からのお話やモスクに行ってみたりしました。その過程で、事前に知識を得ておくことの重要性を実感しました。あらかじめ背景を知ること、現地での体験をより深く理解することができたり、学びをより充実したものにすることができました。

また、現地についてただ調べるだけではなく事後に向けて準備も行なっていました。しかし、実際の研修では事前に考えていた通りに進まないことも多く、研修中に試行錯誤する場面も多くありました。この経験を通して準備を事前により具体的に行なっておくことの大切さを学びました。

そしてマレーシアでの一週間では、多くの文化施設を訪れたほか、普段訪れることのできない日本大使館や現地の高校、企業なども訪問しました。特に二つ印象に残っていることがあります。

一つ目は、現地の高校生と交流したことです。交流前はしっかりとコミュニケーションを取れるか不安な気持ちを抱いていましたが、実際に交流してみると拙い英語でしたが自然に会話することができました。それは、現地の子たちのおかげだと感じています。彼女たちはとてもオープンな気持ちで私たちを受け入れてくれ、私たち一人一人のためにプレゼントまで用意してくれました。他にも、日本の歌と一緒に歌ったり、マレーシアの文化についても積極的に教えてくれました。このような交流を通して、言葉が完璧に通じなくても、互いに理解しようとする気持ちがあれば交流を深めることができるのだと感じました。

二つ目はカンポンビジットで村の方のお家を訪れ、ご飯をご馳走になったことです。首都クアラルンプールとは少し雰囲気が異なり、あまり英語が通じる地域ではなかったため、ホストファミリーとの会話には苦勞する場面もありました。また、マレー語の単語をもっと習得してから訪れることができたらよかったですと感じました。もし再び訪れる機会があれば、英語だけでなくマレー語の知識も増やし、もっとコミュニケーションを取れるようにしたいと思います。

さらに、この研修は私たち日本橋高校生だけでなく他の都立高校生もいました。普段交流することのない仲間との交流ができたことによりさまざまな考え方に触れることができました。他にも、現地の方・他校の先生方・東京都の方・旅行会社の方などの出会いを通じて多くの刺激を得ることができました。そのうえ、自分に足りないものが何かを教えてくださいました。「もっとこうすることができたな」と思うことが多々ありました。この思いを自分の伸びしろとして捉え自己成長に繋がりたいです。

最後に、これら全てが私にとってかけがえのないものになりました。感謝の気持ちでいっぱいです。この研修をこれからのステップアップの一步として活かしていき、グローバル人材として活躍できるような人になっていきます。(Y.O.)